

(3) チョウ類・ガ類 (チョウ目)

1) チョウ類 (総称)

ア 対象種

アゲハチョウ類、シロチョウ類、シジミチョウ類、タテハチョウ類、ジャノメチョウ類、セセリチョウ類等

イ 生息情報

全集落

ウ 採録した呼び名

- ・ 一般的な和名 チョウ、チョウチョ
- ・ その他 チョンチョ

エ 生息及び呼び名の状況

庭先や人家近くの畑、野、里山等で多様な色合

いの大小様々なチョウ類が見かけられ、郡内全集落に生息した。

対象種としては、アゲハチョウ類、シロチョウ類等非常に多種があげられる。

本類の呼び名としては、「チョウチョ」や「チョンチョ」をはじめ計3種を採録した。

郡内のほとんどの地域で一般的な和名である「チョウ」又は「チョウチョ」と呼ばれたほか、椿地区においては「チョンチョ」がみられた。

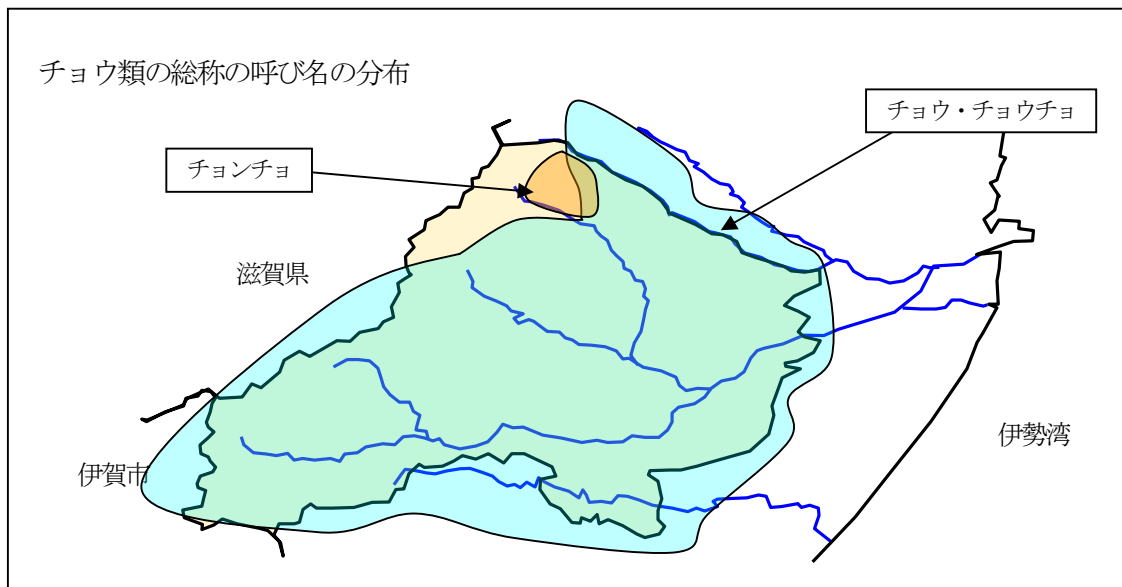
個別のチョウ類の呼び名については、その多様な種類に比べて少なく、呼び名での区別は限定的であったようである。なお、各呼び名の認識割合については、カラスアゲハ等の呼び名となっていた「カミナリチョウチョ」が最も高く、ほとんどの被聴き取り者がその名を認識していたが、他の呼び名は相対的に低く、呼び名の分布の把握には各集落で複数者からの聴き取りが必要であった。

オ その他

チョウ類とガ類との呼び名上の区別については、ガ類が「ガ」のほか、翅に触れると毒とされた麟粉が多くつくことから「ドクチョウチョ」と呼ばれ、大まかな区別がされていた。



ナミアゲハ



2) モンシロチョウ (シロチョウ科)

ア 対象種

モンシロチョウ

イ 生息情報

全集落

ウ 採録した呼び名

- ・ 翅の色 シロチョウチョ
- ・ 翅の紋 モンガレ、モンガレチョウ、モンガレチョウチョ、モンツキ、モンツキチョウ、モンツキチョウチョ
- ・ 翅の色と紋 シロモン、シロモンツキ



エ 生息及び呼び名の状況

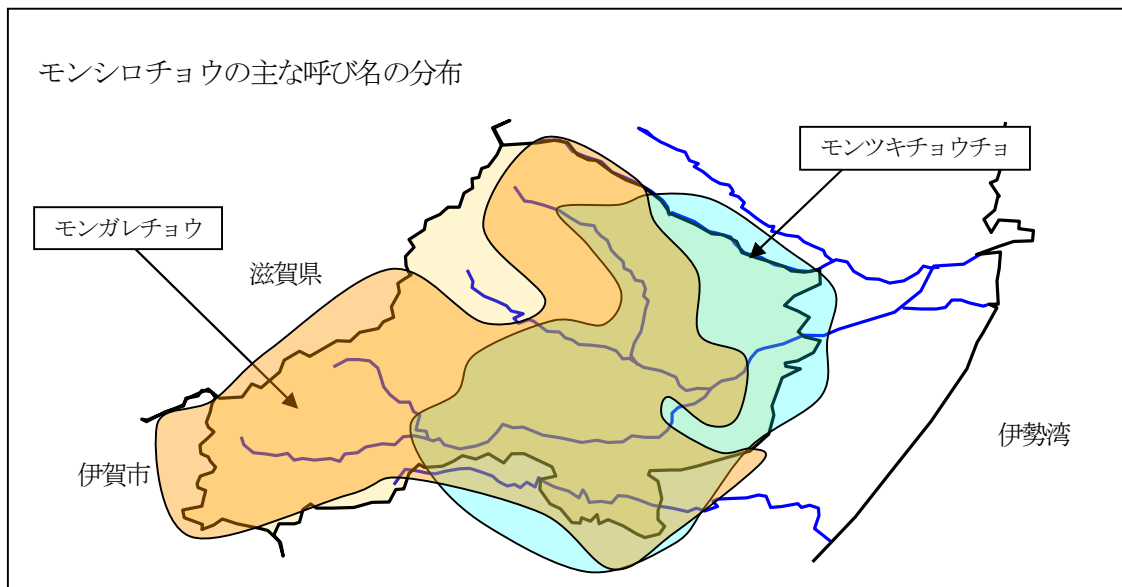
庭先や人家近くの畑、野等の身近なところで見かけられる小型のチョウであり、郡内全集落に生息した。

本種の呼び名としては、「モンツキチョウチョ」や「モンガレチョウ」をはじめ計9種を採録した。

白い翅にある特徴的な黒く丸い紋等から郡内の広い地域で「モンツキチョウチョ」や「モンガレチョウチョ」と呼ばれたほか、集落によっては白い翅から「シロチョウチョ」等とも呼ばれた。

とりわけ、鈴鹿山脈等をはさみ伊賀・甲賀地域から郡内にみられた「モンガレチョウチョ」と、郡の東側から中部付近にかけてみられた「モンツキチョウチョ」の両呼び名が広い地域に分布し、井田川地区から庄野、高津瀬、深伊沢地区付近で主たる呼び名が分かれる傾向がみられた。

なお、本種の呼び名として、当時において既に「モンシロチョウ」という標準和名が一般化していたようで、調査に際しては当時の高齢者等が使用していた呼び名として聴き取りを行った。



※ 呼び名「モンツキチョウチョ」について

本呼び名は、平野部を中心にモンシロチョウの呼び名となっていたが、坂下地区から関町地区及び野登地区から西庄内、椿地区ではモンキアゲハの呼び名となっていた。

3) 小型の黄色いチョウ類 (シロチョウ科)

ア 対象種

モンキチョウ、キチョウ、ツマグロキチョウ

イ 生息情報

全集落

ウ 採録した呼び名

a) モンキチョウ

- ・ キーモン、キーモンツキ

b) 翅の色

- ・ キイロチョウ、キチョウ、キーチョウ、キ
チョウチョ、キンチョウチョ



モンキチョウ

エ 生息及び呼び名の状況

庭先や人家近くの畑、野等の身近なところで見かけられる小型のチョウ類であり、郡内全集落に生息した。

対象種としては、モンキチョウ、少し小型のキチョウ等があげられる。

本類の呼び名としては、「キーチョウチョ」や「キンチョウチョ」をはじめ計7種を採録した。

黄色い翅から、郡内全域で「キーチョウチョ」と呼ばれたほか、「キンチョウチョ」やモンキチョウの呼び名とみられる「キーモンツキ」が一部の集落でみられた。

オ その他

聞き取りから、本類に関して「キーチョウチョが目立つと雨が近い」と言ったという話を採録した。

4) 黄色いアゲハチョウ類 (アゲハチョウ科)

ア 対象種

ナミアゲハ、キアゲハ等

イ 生息情報

全集落

ウ 採録した呼び名

- ・ オオカミチョウチョ、オニチョウチョ、カミナリ
チョウ、カミナリチョウチョ、ライチョウチョ

エ 生息及び呼び名の状況

人家近くの畑や野、里山等の身近なところで見かけられる大型のチョウであり、郡内全集落に生息した。

対象種としては、ナミアゲハ、キアゲハ等があげられる。

本類の呼び名としては、「カミナリチョウチョ」や「オオカミチョウチョ」をはじめ計5種を採録した。

郡内の広い地域で黒いアゲハチョウ類とともに「カミナリチョウチョ」と呼ばれたが、平野部を中心に集落や人によっては黒いアゲハチョウ類より本類が「カミナリチョウチョ」と呼ばれる傾向もみられた。

その他、一部の集落で「オオカミチョウチョ」、「オニチョウチョ」、「ライチョウチョ」と呼ばれる場合もみられたが、地域的に広がりをもった呼び名ではなかった。



キアゲハ

5) 黒いアゲハチョウ類 (アゲハチョウ科)

ア 対象種

カラスアゲハ、モンキアゲハ、ジャコウアゲハ等

イ 生息情報

全集落

ウ 採録した呼び名

- ・ 黒いアゲハチョウ類 オニチョウチョ、カミナリチョウ、カミナリチョウチョ、クロチョウ、バクロチョウ、ライチョウチョ
- ・ モンキアゲハ モンツキ、モンツキチョウ、モンツキチョウチョ



ジャコウアゲハ

エ 生息及び呼び名の状況

人家近くの畑や野、里山等で見かけられる大型のチョウ類であり、郡内全集落に生息した。

対象種としては、カラスアゲハ、モンキアゲハ等があげられる。

本類の呼び名としては、「カミナリチョウチョ」や「バクロチョウ」をはじめ計6種を採録した。

郡内のほぼ全域で「カミナリチョウチョ」と呼ばれたほか、「バクロチョウ」や「オニチョウチョ」等が一部の集落でみられた。

また、黒い翅にはっきりとした黄白色の紋がある

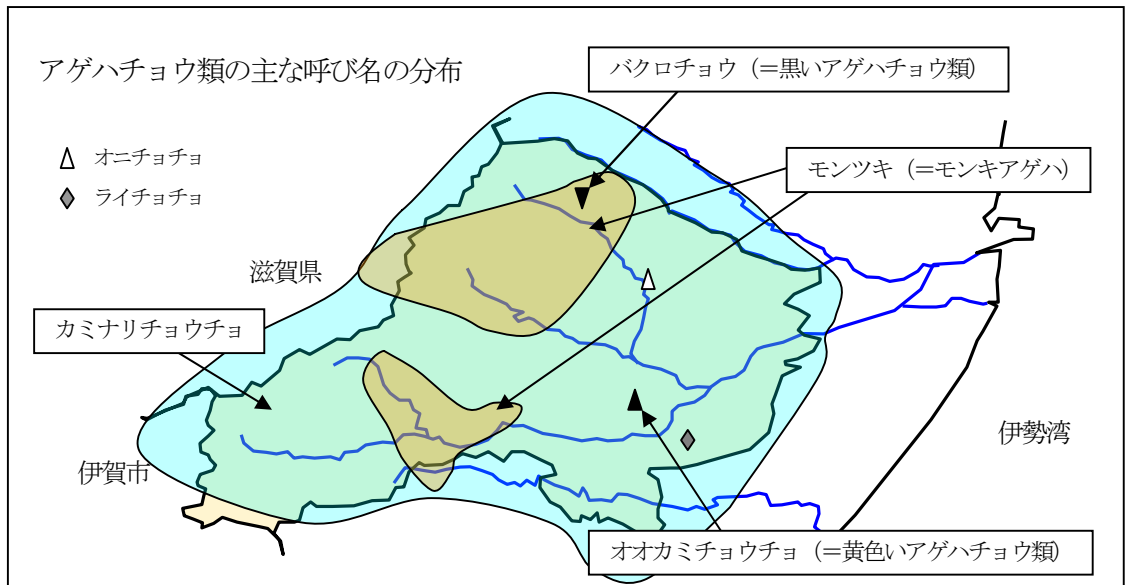
モンキアゲハについては、坂下地区から関町地区、また野登地区から西庄内、椿地区にかけての集落で「モンツキ」や「モンツキチョウチョ」等とも呼ばれた。



モンキアゲハ

オ その他

聴き取りから、本類に関して「カミナリチョウチョが飛んでくると、雷が鳴る」や「カミナリチョウチョが来ると夕立が来る」と言ったという話を採録した。



※ 呼び名「カミナリチョウチョ」について

本呼び名は、山辺の地域を中心にカラスアゲハ等の黒いアゲハチョウ類を指す傾向が強いが、平野部の集落ではナミアゲハ等の黄色いアゲハチョウ類を指す場合がみられた。

6) 落葉に似たタテハチョウ類 (タテハチョウ科)

ア 対象種

キタテハ、ヒメアカタテハ、ヒオドシチョウ等

イ 生息情報

全集落

ウ 採録した呼び名

- ・ 翅の色 カレハチョウ、コノハチョウ
- ※ アブラチョウ

エ 生息及び呼び名の状況

翅の表は黄色い中に黒い部分や斑点があり、裏は茶褐色で枯葉そっくりの保護色となるチョウ類である。

人家近くの畑や野、里山等の身近なところでも見かけられ、郡内全集落に生息した。

対象種としては、キタテハ、ヒメアカタテハ等があげられる。

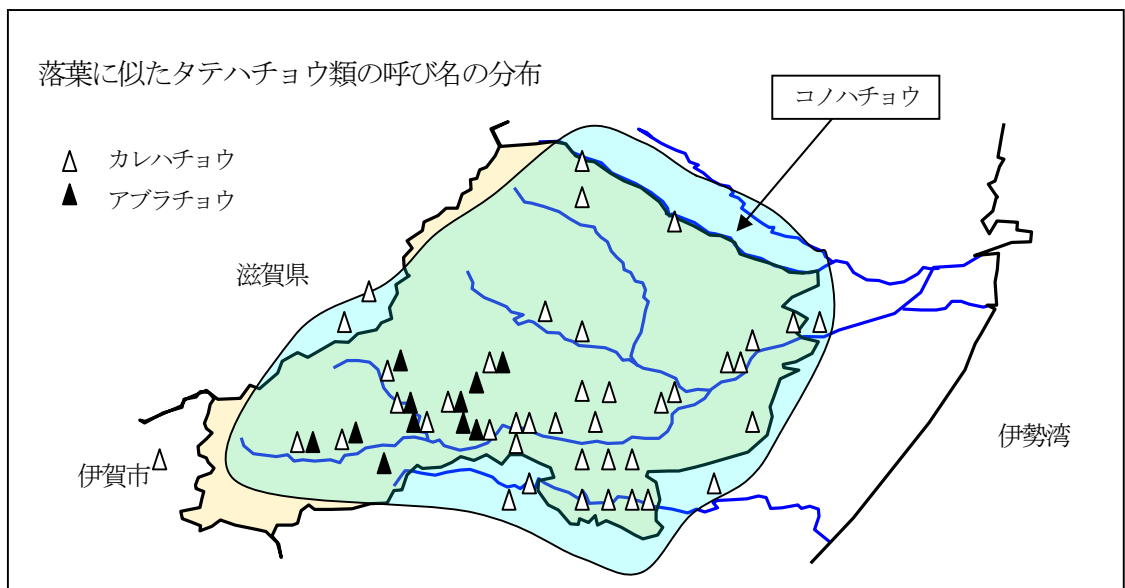
本類の呼び名としては、「コノハチョウ」と「カレハチョウ」の計2種を採録した。

郡内全域で「コノハチョウ」と呼ばれたほか、郡中部、南部以西の集落を中心として「カレハチョウ」とも呼ばれたが、同一集落であっても被聴き取り者により回答内容に違いがみられたことから、概ね全域で両呼び名で呼ばれたものとも考えられる。

なお、白川地区以西の集落で「アブラチョウ」を採録したが、本類又は他のタテハチョウ類の一種とみられる。



キタテハ (上下)



7) オオムラサキ (タテハチョウ科)

ア 対象種

オオムラサキ

イ 生息情報

ほぼ全集落

ウ 採録した呼び名

- ・ 翅の色 ムラサキチョウ、ムラサキチョウ
 チョ

エ 生息及び呼び名の状況

国蝶とされている紫色の翅が美しい大型のチョウである。

現在ではほとんど見かけられることはないようであるが、かつては郡内に山林が広がっていたことから、コナラなどの広葉樹の樹液が出る場所でのとまりとともにその飛翔が郡内の広い範囲において見かけられたという。

本種の呼び名としては、「ムラサキチョウ」と「ムラサキチョウチョ」の計2種を採録した。郡内の広い地域で美しい紫色の翅から「ムラサキチョウ」や「ムラサキチョウチョ」と呼ばれ、他の呼び名はみられなかった。

